

実務経験のある教員による授業(実践的)科目一覧

柔道整復学科

	科目名	担当教員	単位数	科目に関連する実務経験と授業への活用
全学共通科目	日本国憲法	柴田 賢	2	講師は弁護士として、民事事件、刑事事件、行政事件など、憲法問題を含む法律実務に従事してきた。これらの実務経験を踏まえ、現実の社会における法の運用の実情を踏まえた講義を行う。
専門科目	運動学Ⅰ	大澤 一郎	1	ヒトの様々な姿勢や動作を理解するために必要な運動学の基礎的な内容について、機能解剖学的研究や運動解析研究に関する経験のある教員が講義する。
	運動学Ⅱ	大澤 一郎	1	姿勢や動作を理解するために必要な運動学の基礎的な内容について、機能解剖学的研究や運動解析研究に関する経験のある教員が講義する。
	基礎柔道整復総論Ⅴ	鎌塚 正志	2	単に保存療法の意義やメカニズムについて説明するだけでなく、柔道整復師の業務範囲であるか否かの判断(保存療法の限界)について、柔道整復師として30年以上の実務経験(整形外科、整骨・接骨院勤務ならびにトレーナー活動)を活かし講義する。
	基礎整復技術実習Ⅰ	鎌塚 正志	2	接骨・整骨院、整形外科で勤務した経験を持ち、トレーナー活動で多くの外傷・障害を治療、経験してきた。また、スポーツ外傷・障害の治療・予防を研究分野に活動している。これらの経験を活かし講義する。
	基礎整復技術実習Ⅲ	杉浦 加奈子,松原 一誠	2	本科目は後療法(手技療法、運動療法、物理療法)についての実践的科目である。接骨院での実務経験豊富な教員(杉浦、柔道整復師・松原、柔道整復師)による講義を通して、幅広い分野で活躍する柔道整復師を目指すために必要な知識および実技を教授する。
	臨床整復技術実習Ⅱ	市ヶ谷 武生,佐野 秀明	2	柔道整復師として臨床実践を行ってきた教員(市ヶ谷・佐野)が、発生頻度の高い前腕骨、中手骨、中手骨、手指骨の骨折の整復・固定・後療法について実技をおこなう。基礎から段階的に教授し、臨床応用まで実践的な実技実習をおこなう。
	臨床整復技術実習Ⅲ	松原 一誠,市毛 雅之,杉浦 加奈子	2	本学教員(加藤一雄、松原一誠)が臨床で培った経験を踏まえて、上肢の脱臼と軟部組織損傷に対する評価法、応急処置法から実践的施術法に至るまで、臨床的な見地から実践的な実技実習を行う。
	柔道整復総合演習Ⅱ	市毛 雅之,富田 圭佑,杉浦 加奈子,松原 一誠,鎌塚 正志,市ヶ谷 武生,舟喜 晶子	2	担当教員(柔道整復業務に精通し、臨床経験を有する)により、基礎医学から臨床医学ならびに柔道整復学を総合的に教授すると共に問題解決能力を身に付けるよう指導する。長年接骨院で患者をみている柔道整復師がその経験を活かし、柔道整復師の適応範囲を明確にし各疾患の施術方法について教授する。
	臨床実習Ⅲ	市毛 雅之,佐野 秀明,富田 圭佑,吉田 松原	1	担当教員は附属接骨院院長及び柔道整復師としての臨床経験豊富な柔道整復師資格を有する本学柔道整復学科教員(市毛、佐野、市ヶ谷、鎌塚、富田、杉浦、舟喜、吉田、松原:接骨院、整形外科での豊富な臨床経験を有する)による、講義や実習を通じて柔道整復学を学び、臨床現場等に活用できる知識を学ぶ。
	臨床実習Ⅳ	市毛 雅之,佐野 秀明,富田 圭佑,吉田 松原	1	担当教員は附属接骨院院長及び柔道整復師としての臨床経験豊富な柔道整復師資格を有する本学柔道整復学科教員(市毛、佐野、市ヶ谷、鎌塚、富田、杉浦、舟喜、吉田、松原:接骨院、整形外科での豊富な臨床経験を有する)による、講義や実習を通じて柔道整復学を学び、臨床現場等に活用できる知識を学ぶ。
	アドバンスセミナーⅡ	市毛 雅之,佐野 秀明,富田 圭佑,大澤 一郎	2	外部講師(接骨院を開業する豊富な臨床経験を有する)と学科教員(鎌塚正志、富田圭佑、杉浦加奈子、舟喜晶子、松原一誠、大澤一郎:接骨院、整形外科、歯科医院での臨床経験を有する)が実践的な柔道整復学を教授すると共に、接骨院における保険制度とその取り扱い方について講義する。
合計単位数			20	